

資料編

- I 総務企画班業務
- II 地域保健班業務
- III 健康推進班業務
- IV 生活環境班業務
- V 学生実習
- VI 研修・講習
- VII 研究実績



I 総務企画班業務

1 管内人口の状況

(1) 市町村別人口の推移

年次	管内総数	宮古島市	平良市	城辺町	下地町	上野村	伊良部町	多良間村
昭和40年	69,825	—	32,591	14,559	5,206	4,603	10,263	2,603
昭和45年	60,953	—	29,721	12,053	4,022	3,739	9,132	2,286
昭和50年	57,762	—	29,301	10,883	3,116	3,493	9,164	1,805
昭和55年	60,464	—	32,924	10,203	3,017	3,500	9,153	1,667
昭和60年	60,167	—	33,406	9,671	2,921	3,502	9,035	1,632
平成2年	57,458	—	33,124	8,564	2,892	3,227	8,155	1,496
平成7年	56,248	—	33,387	7,896	3,045	3,179	7,424	1,317
平成12年	55,805	—	33,726	7,649	3,206	3,183	6,709	1,332
平成17年	55,200	—	34,190	6,879	3,225	3,274	6,236	1,396
平成18年	54,442	53,127	—	—	—	—	—	1,315
平成19年	54,021	52,734	—	—	—	—	—	1,287
平成20年	53,626	52,352	—	—	—	—	—	1,274
平成21年	53,478	52,222	—	—	—	—	—	1,256
平成22年	53,452	52,203	—	—	—	—	—	1,249
平成23年	53,209	52,024	—	—	—	—	—	1,185
平成24年	53,122	51,959	—	—	—	—	—	1,163
平成25年	53,036	51,885	—	—	—	—	—	1,151
平成26年	52,732	51,614	—	—	—	—	—	1,118
平成27年	52,441	51,356	—	—	—	—	—	1,085
平成28年	52,164	50,997	—	—	—	—	—	1,167
平成29年	52,343	51,180	—	—	—	—	—	1,163
平成30年	52,456	51,299	—	—	—	—	—	1,157
令和元年	53,289	52,176	—	—	—	—	—	1,113
令和2年	53,510	52,420	—	—	—	—	—	1,090
令和3年	53,433	52,339	—	—	—	—	—	1,094
令和4年	53,967	52,903	—	—	—	—	—	1,064
令和5年	54,097	53,056	—	—	—	—	—	1,041

資料：沖縄県企画部統計課 HP「沖縄県統計資料 WEB サイト」各年 10 月 1 日時点の人口
(平成 17 年は 9 月 1 日時点)

(2) 市村別人口の構成

各項目	面積 (Km ²)	人口			人口密度 (人/Km ²)	世帯数	1 世帯あたり人口 (人/世帯数)
		総数	男	女			
管内	225.90	54,097	27,257	26,840	239.47	26,472	2.04
宮古島市	203.90	53,056	26,686	26,370	260.21	25,985	2.04
多良間村	22.00	1,041	571	470	47.32	487	2.14

※面積は国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」令和 5 年 10 月 1 日時点

※人口及び世帯数は沖縄県企画部統計課 HP「沖縄県統計資料 WEB サイト」令和 5 年 10 月 1 日時点

2 管内人口動態

(1) 人口動態統計について

ア 調査の目的と沿革

我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的としている。

人口動態調査は、明治31年に「戸籍法」が制定され、登録制度が法体系的にも整備されたのを機会に、同32年から1件につき1枚の個別票（人口動態調査票）を作成し、中央集計をする近代的な人口動態統計制度が確立された。

その後、昭和22年6月に「統計法」に基づき「指定統計第5号」として指定され、その事務の所管は同年9月1日に総理府から厚生省へ移管された。

さらに、平成21年4月より、新「統計法」（平成19年法律第53号）に基づく基幹統計調査となっている。

イ 調査の対象、客体及び抽出方法

「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としている（全数調査）。

ウ 調査事項

人口動態調査票は、次に挙げる5種であり、概要は以下のとおりである。

- (a) 出生票：出生の年月日、場所、体重、父母の氏名及び年齢等の出生届に基づく事項
- (b) 死亡票：死亡者の生年月日、住所、死亡の年月日等の死亡届に基づく事項
- (c) 死産票：死産の年月日、場所、父母の年齢等の死産届に基づく事項
- (d) 婚姻票：夫妻の年月日、夫の住所、初婚・再婚の別等の婚姻届に基づく事項
- (e) 離婚票：夫妻の年月日、住所、離婚の種類等の離婚届に基づく事項

エ 調査の時期

調査該当年の1月1日から同年12月31日まで

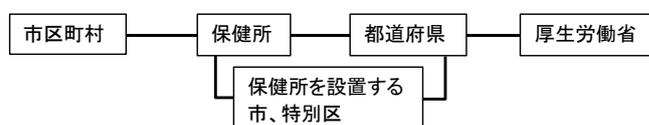
オ 調査の方法

- (a) 市区町村長は、出生、死亡、死産、婚姻及び離婚の届出を受けたときは、その届書等に基づいて人口動態調査票を作成し、これを保健所の管轄区域によって当該保健所長に送付する。

保健所長は、市区町村長から提出された調査票を取りまとめ、毎月、都道府県知事に送付する。

- (b) 報告の系統図

- (c) 集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行う。



(2) 用語の説明及び比率の解説について

ア 自然増減・・・出生数－死亡数

イ 乳児死亡・・・生後1年未満の死亡

ウ 新生児死亡・・・生後4週未満の死亡

エ 早期新生児死亡・・・生後1週間未満の死亡

オ 死産・・・・・・・・・・妊娠満12週（妊娠第4月）以後の死児の出産

※ 死児とは、出産後において心臓搏動、随意筋の運道及び呼吸のいずれも認めないものをいう。

※ 死産には自然死産と人工死産があり、人工死産とは、胎児の母体内生存が確実であるときに、人工的処置（胎児又は付属物に対する措置及び陣痛促進剤の使用）を加えたことにより死産に至った場合をいい、それ以外は全て自然死産とする。

なお、人工的処置を加えた場合でも、次のものは自然死産とする。

(a) 胎児を出生させることを目的とした場合

(b) 母体内の胎児が生死不明又は死亡している場合

カ 周産期死亡・・・妊娠満22週（154日）以後の死産＋早期新生児死亡

キ 出生・死亡・婚姻・離婚率

$$= (\text{年間事件数} \div \text{人口}) \times 1,000$$

ク 自然増加率

$$= \{(\text{年間出生数} - \text{年間死亡数}) \div \text{10月1日現在人口}\} \times 1,000$$

ケ 死産率

$$= \{ \text{年間死産数} \div (\text{年間出生数} + \text{年間死産数}) \} \times 1,000$$

コ 乳児死亡・新生児死亡・早期新生児死亡率

$$= (\text{年間乳児 or 新生児 or 早期新生児死亡数} \div \text{年間出生数}) \times 1,000$$

サ 周産期死亡率

$$= \{ \text{年間周産期死亡数} \div (\text{年間出生数} + \text{年間妊娠満22週以後の死産数}) \} \times 1,000$$

シ 合計特殊出生率

$$= [\text{年齢別出生数 (5歳階級別)} \div \text{年齢別女子人口 (5歳階級別)}] \text{の総和} \\ (15 \sim 49 \text{歳までの7階級}) \times 5$$

※ 合計特殊出生率とは、15～49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子どもの数に相当する。

(3) 結果の公表などについて

概ね、毎年9月上旬ごろに前年の人口動態調査の確定数が公表される。詳細については、厚生労働省のホームページを参照のこと。

(参考) <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1.html>

(4) 人口動態統計の概要

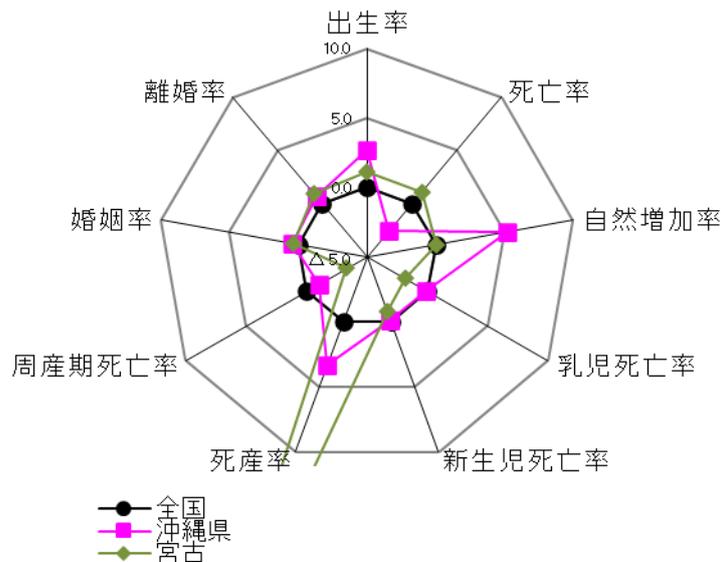
令和5年

項目	実数・率	実数(人、組)					率(%)					沖縄県 全国順位
		全国	沖縄県	宮古管内	宮古島市	多良間村	全国	沖縄県	宮古管内	宮古島市	多良間村	
出生		727,288	12,549	384	382	2	6.0	8.7	7.1	7.2	1.9	1位
死亡		1,576,016	15,110	763	746	17	13.0	10.5	14.1	14.1	16.3	46位
自然増減		△ 848,728	△ 2,561	△ 379	△ 364	△ 15	△ 7.0	△ 1.8	△ 7.0	△ 6.9	△ 14.4	-
乳児(生後1年未満)死亡		1,326	22	0	0	0	1.8	1.8	0.0	0.0	0.0	28位
新生児(生後4週未満)死亡		600	9	0	0	0	0.8	0.7	0.0	0.0	0.0	26位
死産		15,534	312	20	20	0	20.9	24.3	49.5	49.8	0.0	4位
自然死産		7,152	165	8	8	0	9.6	12.8	19.8	19.9	0.0	-
人工死産		8,382	147	12	12	0	11.3	11.4	29.7	29.9	0.0	-
周産期死亡		2,404	29	0	0	0	3.3	2.3	0.0	0.0	0.0	47位
妊娠満22週以後の死産		1,943	22	0	0	0	2.7	1.8	0.0	0.0	0.0	-
早期新生児死亡		461	7	0	0	0	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	-
婚姻		474,741	6,316	231	230	1	3.9	4.4	4.3	4.3	1.0	4位
離婚		183,814	3,170	134	131	3	1.5	2.2	2.5	2.5	2.9	1位

資料：令和5年厚生労働省人口動態調査確定値(R6.9月公表)

※沖縄県企画部統計課 HP「沖縄県統計資料 WEB サイト」における R5.10.1 時点の推計人口を使用して率を算出している。

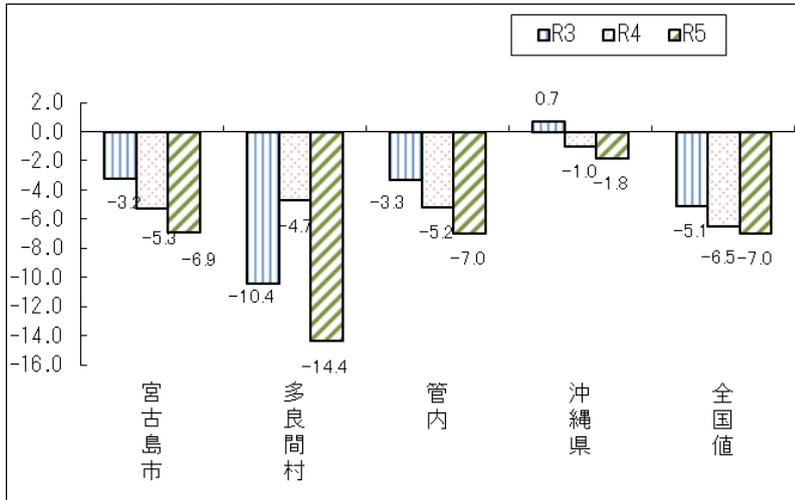
図1. 人口動態レーダーチャート(令和5年)



	全国	沖縄県	宮古
出生率	0.0	2.7	1.1
死亡率	0.0	△ 2.5	1.1
自然増加率	0.0	5.2	△ 0.0
乳児死亡率	0.0	△ 0.1	△ 1.8
新生児死亡率	0.0	△ 0.1	△ 0.8
死産率	0.0	3.3	28.6
周産期死亡率	0.0	△ 1.0	△ 3.3
婚姻率	0.0	0.5	0.4
離婚率	0.0	0.7	1.0

人口動態統計で使用される主な指標を用いて、全国を基準として沖縄県及び宮古管内の値がどの位置にあるのかを示している。

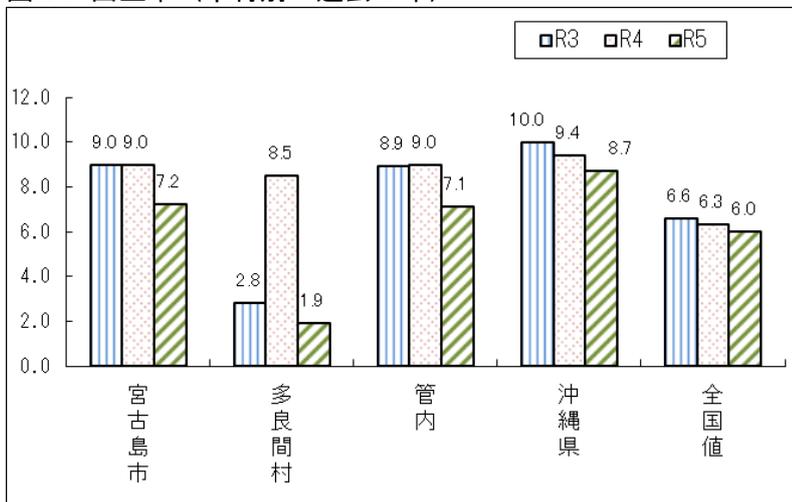
図2. 自然増加率（市村別・過去3年）



自然増加率の動向

全国的に減少傾向にある。
管内は、県全体と比較すると大きく下回っている。

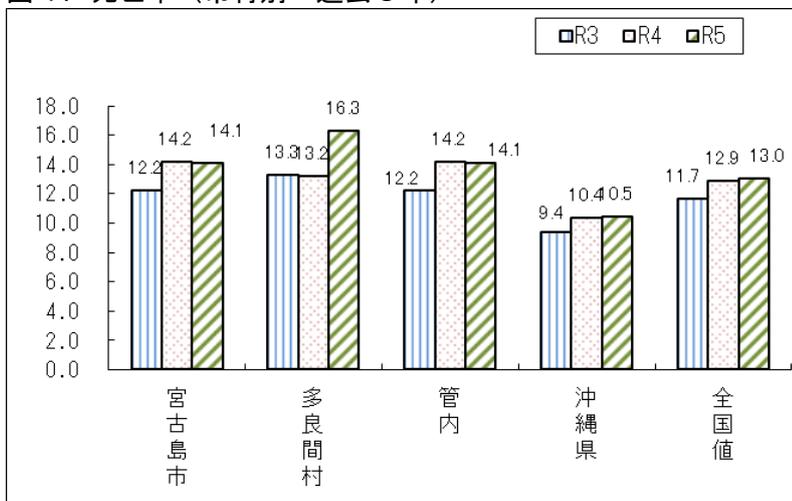
図3. 出生率（市村別・過去3年）



出生率の動向

全国的に減少傾向にある。
管内と県全体は、全国より高い水準となっている。

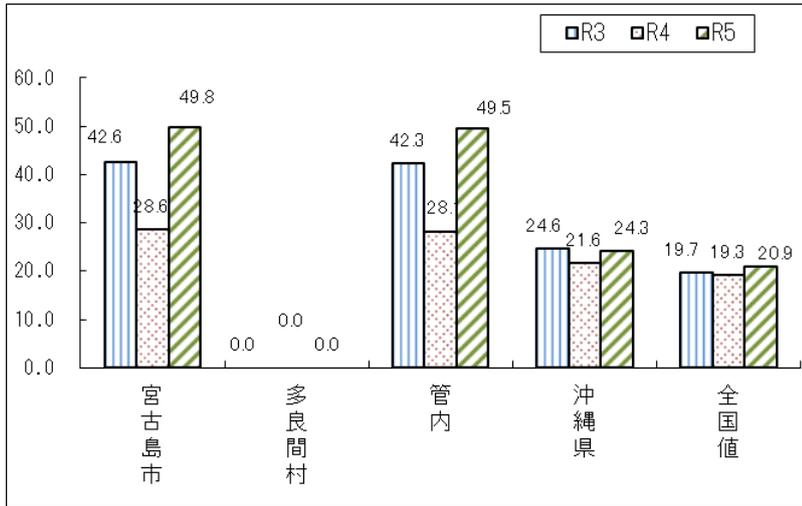
図4. 死亡率（市村別・過去3年）



死亡率の動向

全国的に増加傾向にある。
管内は、全国及び県全体と比較すると、人口の高齢化を反映して高い水準で推移している。

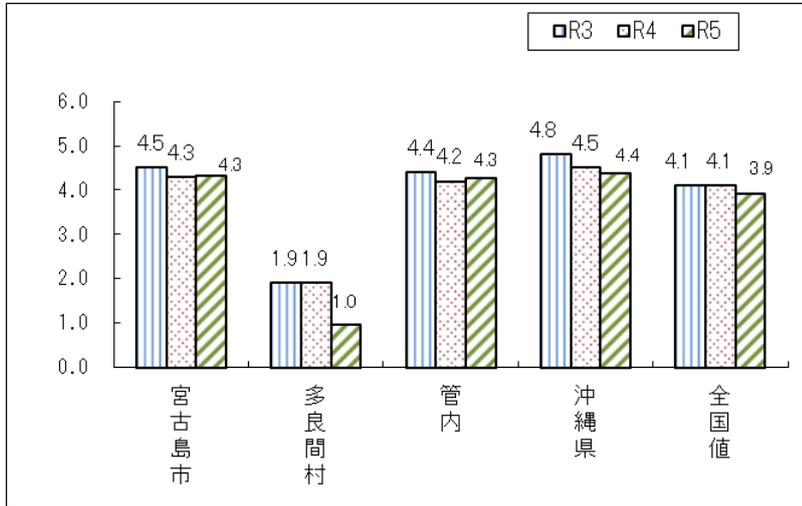
図5. 死産率（市村別・過去3年）



死産率の動向

県全体では全国よりもやや高い水準であるが、管内ではさらに高い水準となっている。

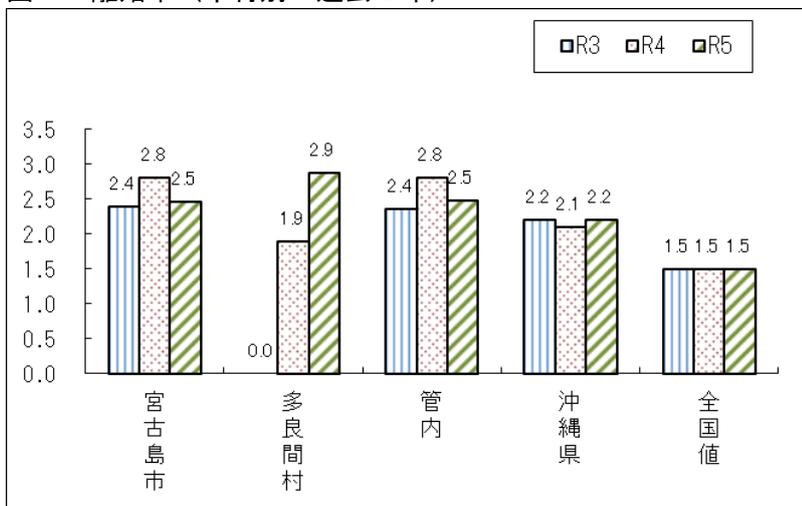
図6. 婚姻率（市村別・過去3年）



婚姻率の動向

管内、県全体、全国でほぼ同様の水準となっている。

図7. 離婚率（市村別・過去3年）



離婚率の動向

県全体では、全国よりも高い水準であるが、管内ではさらに高い水準になっている。

(5) 令和5年人口動態総覧（市村別）

ア 人口動態総覧

令和5年

単位：人、件

項目	出生児数			(再掲) 低体重児 数	死亡者数			(再掲) 乳児 死亡者数	(再掲) 新生児 死亡者数	死産胎数			周産期 死亡数			婚姻 件数	離婚 件数
	男	女	計		男	女	計			計	計	自然	人工	計	後 期		
宮古島市	203	179	382	40	416	330	746	0	0	8	12	20	0	0	0	230	131
多良間村	2	0	2	0	8	9	17	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
管内	205	179	384	40	424	339	763	0	0	8	12	20	0	0	0	231	134

資料：令和5年厚生労働省人口動態調査確定値（R6.9月公表）

- 低体重児：2,500g未満の出生児
- 乳児死亡：生後1年未満の死亡
- 新生児死亡：生後4週間未満の死亡
- 死産：妊娠満12週以後の死児の出産
- 周産期死亡：後期⇒妊娠22週以後の死産
早期⇒生後1週間未満の死亡

イ 人口動態総覧（率）

令和5年

単位：‰

市村	項目	出生率	死亡率	(再掲) 乳児 死亡率	(再掲) 新生児 死亡率	死産率	周産期 死亡率	婚姻率	離婚率
	R4年	9.0	14.2	-	-	28.6	2.1	4.3	2.8
	R5年	7.2	14.1	-	-	49.8	-	4.3	2.5
多良間村	R3年	2.7	12.8	333.3	-	-	-	1.8	-
	R4年	8.5	13.2	-	-	-	-	2.8	1.9
	R5年	1.9	16.3	-	-	-	-	1.0	2.9
管内	R3年	8.9	12.2	2.1	0.0	43.3	4.2	4.4	2.4
	R4年	9.0	14.2	-	-	-	-	1.9	1.9
	R5年	7.1	14.1	-	-	49.5	-	4.3	2.5

資料：令和3年～令和5年厚生労働省人口動態調査確定値

※沖縄県企画部統計課HP「沖縄県統計資料WEBサイト」における各年10月1日時点の推計人口を使用して率を算出している。

(6) 管内合計特殊出生率（平成25～令和5年）

■合計特殊出生率

	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
宮古管内（宮古島市+多良間村）	2.13	2.08	2.57	2.32	2.20	2.12	2.19	2.16	1.90	1.92	1.54
宮古島市	2.14	2.08	2.60	2.32	2.24	2.14	2.22	2.17	1.92	1.92	1.56
多良間村	1.80	2.01	1.59	2.70	0.81	0.97	1.11	1.54	0.96	2.70	0.58
沖縄県	1.94	1.86	1.96	1.95	1.94	1.89	1.82	1.83	1.8	1.7	1.6
全国	1.43	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42	1.36	1.33	1.3	1.26	1.2

資料：①平成25年～令和5年厚生労働省人口動態調査確定値

②管内⇒未公表のため、当保健所において算出

※合計特殊出生率とは、出産可能年齢（15歳～49歳）の女子の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が生涯、何人の子どもを産むのかを推計したもので、計算式は以下のとおり。

$$\text{計算式：} \left[\frac{\text{年齢別出生数（5歳階級別）}}{\text{年齢別女子人口（5歳階級別）}} \right] \text{の総和} \times 5$$

（15歳～49歳までの7階級）

※年齢別出生数（5歳階級別）については、厚生労働省人口動態調査結果（確定数）出生表 5-1-47

「出生数, 性・母の年齢（5歳階級）・都道府県・保健所別」を参照した。

※平成 25 年～平成 26 年の基準女子人口は平成 22 年の国勢調査資料を、平成 27 年～令和元年の基準女子人口は平成 27 年の国勢調査資料を、令和 2 年度以降の基準女子人口は令和 2 年度の国勢調査資料を参照した。

(7) 人口動態総覧の年次推移

単位：人、組

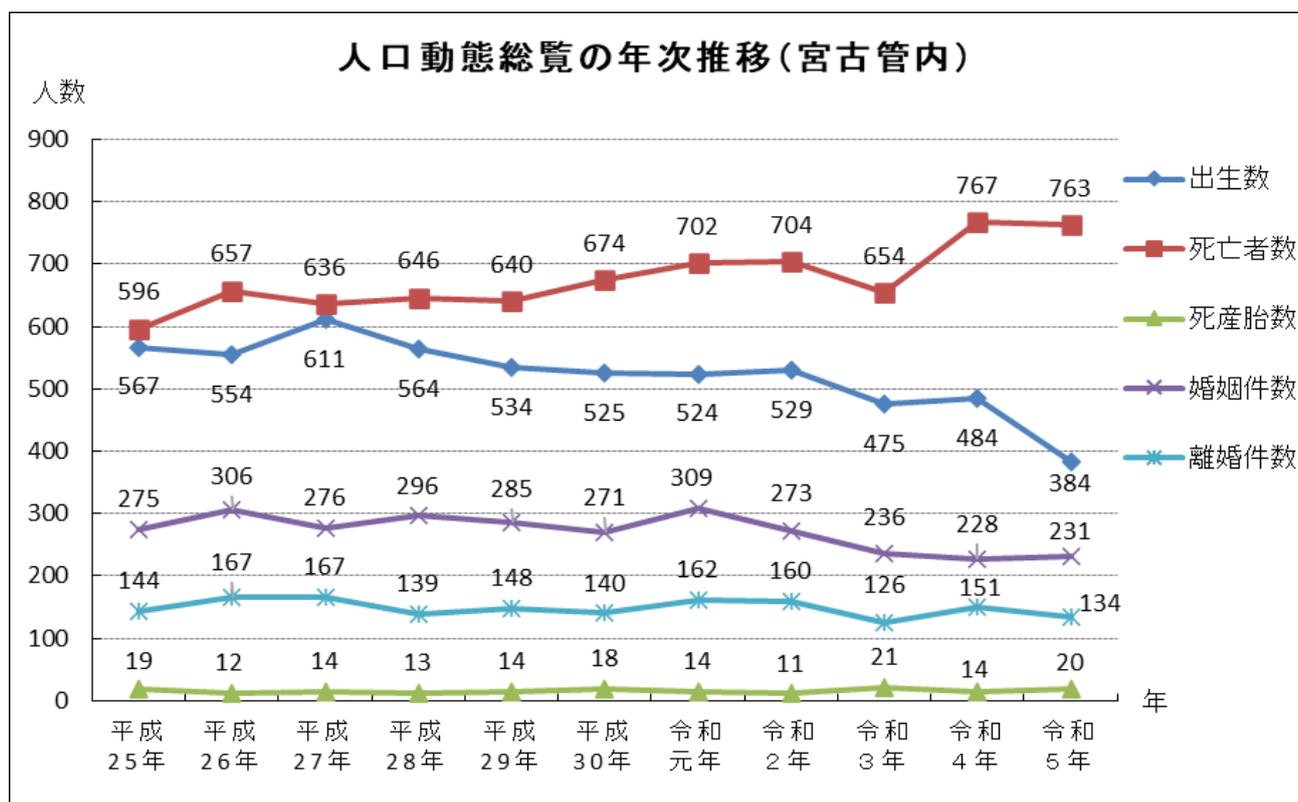
	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	対前 年比
管内人口	53,036	52,732	52,441	52,164	52,343	52,456	53,289	53,510	53,433	53,967	54,097	130
出生数	567	554	611	564	534	525	524	529	475	484	384	△ 100
男	293	300	314	297	262	271	264	271	261	212	205	△ 7
女	274	254	297	267	272	254	260	258	214	272	179	△ 93
死亡者数	596	657	636	646	640	674	702	704	654	767	763	△ 4
男	322	341	323	352	372	355	373	393	363	392	424	32
女	274	316	313	294	268	319	329	311	291	375	339	△ 36
乳児 死亡者数	0	1	0	2	0	1	0	1	1	0	0	0
男	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
女	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0
新生児 死亡者数	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0
男	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0
死産胎数	19	12	14	13	14	18	14	11	21	14	20	6
自然	4	4	2	3	5	10	6	6	11	4	8	4
人工	15	8	12	10	9	8	8	5	10	10	12	2
周産期 死亡数	1	1	0	2	1	3	0	1	2	1	0	△ 1
後期	1	1	0	0	1	2	0	0	2	1	0	△ 1
早期	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0
婚姻件数	275	306	276	296	285	271	309	273	236	228	231	3
離婚件数	144	167	167	139	148	140	162	160	126	151	134	△ 17

資料：①沖縄県企画部統計課 HP「沖縄県統計資料 WEB サイト」(管内人口)

②平成 25 年～令和 5 年厚生労働省人口動態調査確定値

※太字下線付は、平成 25 年～令和 5 年までの最高値を表している。

※管内人口については、各年 10 月 1 日時点。



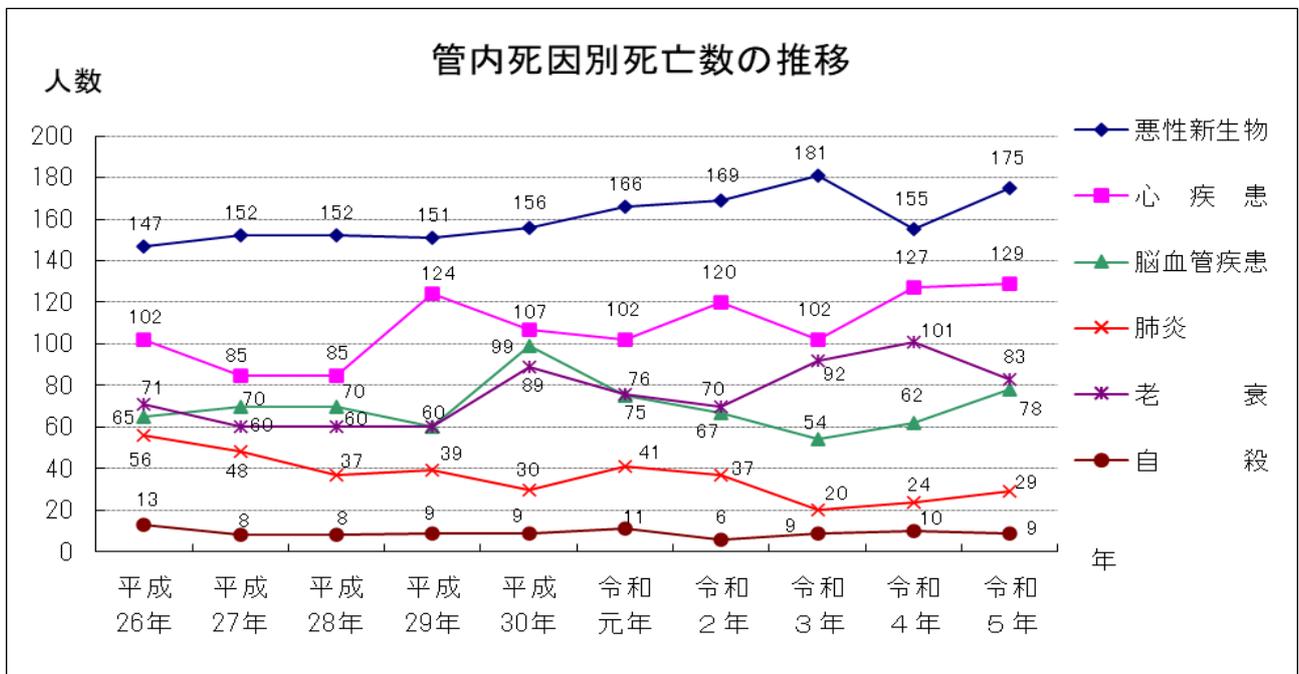
(8) 死亡の状況

ア 死亡者数（死因別・市村別）

死 因	総数	令和 5 年	
		宮古島市	多良間村
結 核	0	0	0
悪性新生物	175	167	8
糖 尿 病	10	10	0
高血圧性疾患	11	11	0
心 疾 患	129	126	3
脳血管疾患	78	77	1
肺炎	29	28	1
肝 疾 患	16	16	0
腎 不 全	14	14	0
老 衰	83	83	0
不慮の事故	11	11	0
自 殺	9	9	0
そ の 他	198	194	4
合 計	763	746	17

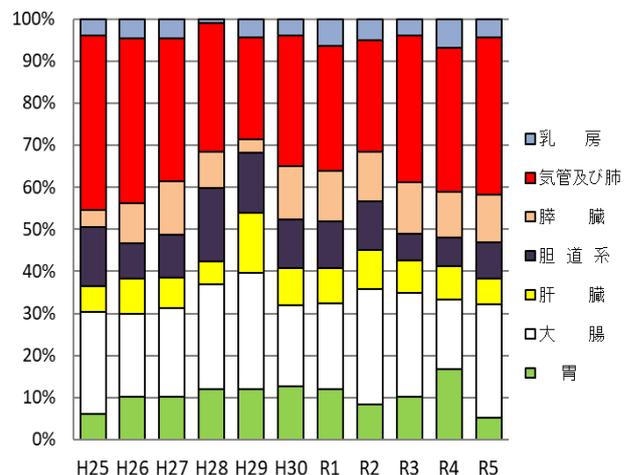
イ 死亡者数（年代別・市村別）

年 代	総数	令和 5 年	
		宮古島市	多良間村
10歳未満	1	1	0
10歳-19歳	0	0	0
20歳-29歳	1	1	0
30歳-39歳	5	5	0
40歳-49歳	9	9	0
50歳-59歳	27	26	1
60歳-69歳	78	76	2
70歳-79歳	140	136	4
80歳-89歳	236	231	5
90歳以上	266	261	5
合 計	763	746	17



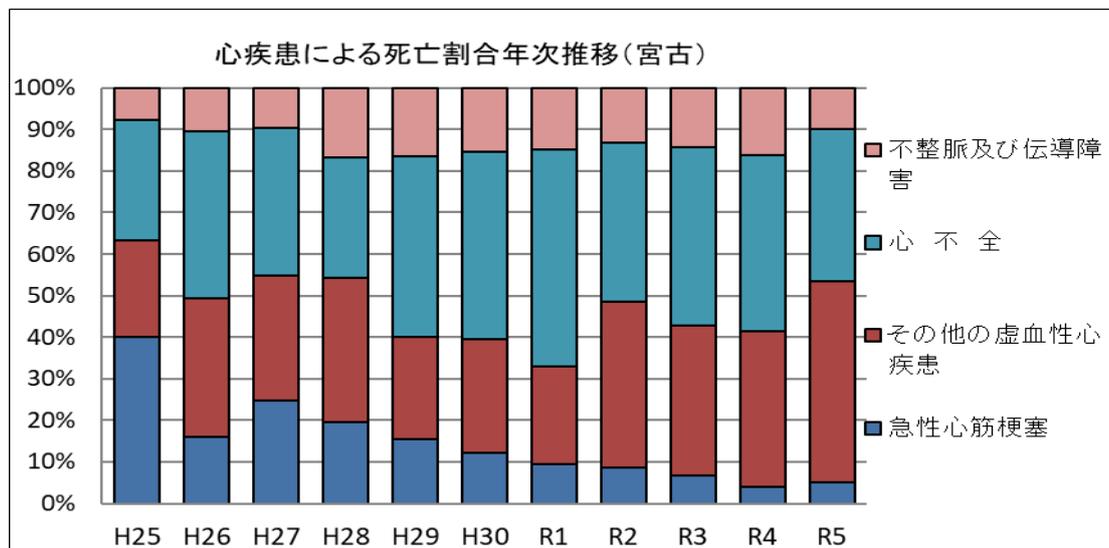
ウ 悪性新生物部位別死亡者数（市村別）及び部位別死亡者割合年次推移（管内）

悪性新生物部位	総数			宮古島市			多良間村		
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
食 道	3	5	5	3	5	4	0	0	1
胃	13	17	6	13	16	6	0	1	0
結 腸	23	10	23	22	8	23	1	2	0
直 腸	9	7	8	9	7	7	0	0	1
肝 臓	10	8	7	9	8	6	1	0	1
胆 道 系	8	7	10	8	7	10	0	0	0
膵 臓	16	11	13	16	11	12	0	0	1
気管及び肺	45	35	43	43	35	41	2	0	2
乳 房	5	7	5	5	7	5	0	0	0
子 宮	2	2	1	2	2	1	0	0	0
白 血 病	2	3	4	2	3	4	0	0	0
そ の 他	45	43	50	43	43	48	2	0	2
合 計	181	155	175	175	152	167	6	3	8



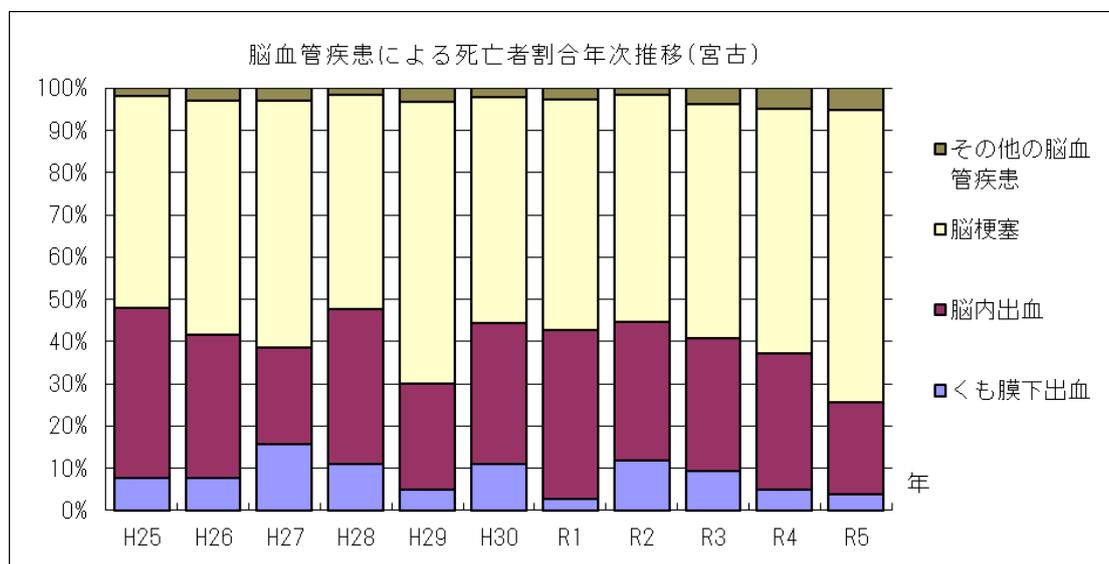
エ 心疾患による死亡者数（種別、市村別）及び死亡割合年次推移（管内）

死 因	総数			宮古島市			多良間村		
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
急性心筋梗塞	6	5	6	6	5	5	0	0	1
その他の虚血性心疾患	33	46	58	33	45	58	0	1	0
心不全	39	52	44	38	52	43	1	0	1
不整脈及び伝導障害	11	20	12	11	20	12	0	0	0
その他の心疾患	13	4	9	13	4	8	0	0	1
合 計	102	127	129	101	126	126	1	1	3



オ 脳血管疾患による死亡者数（種別、市村別）及び死亡者割合年次推移（管内）

脳血管疾患 死因種別	総数			宮古島市			多良間村		
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
くも膜下出血	5	3	3	5	3	3	0	0	0
脳内出血	17	20	17	16	20	17	1	0	0
脳梗塞	30	36	54	30	36	53	0	0	1
その他の脳血管疾患	2	3	4	2	3	4	0	0	0
合 計	54	62	78	53	62	77	1	0	1



II 地域保健班業務

1 難病対策

(1) 受給者証交付状況詳細

令和5年度(単位:件)

疾病名	交付件数	新規	更新	男	女	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	宮古島市	多良間村
筋萎縮性側索硬化症	4	1	3	1	3	0	0	0	0	1	0	1	2	4	0
進行性核上性麻痺	11	2	9	7	4	0	0	0	0	0	0	6	5	11	0
パーキンソン病	56	11	45	31	25	0	0	0	0	0	0	14	42	55	1
大脳皮質基底核変性症	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
重症筋無力症	19	2	17	11	8	0	0	1	1	2	3	7	5	19	0
多発性硬化症／視神経脊髄炎	2	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0
慢性炎症性脱髄性多発神経炎／ 多巣性運動ニューロパチー	2	0	2	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0
クロー・深瀬症候群	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
多系統萎縮症	3	0	3	2	1	0	0	0	0	0	1	2	0	3	0
脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を 除く。)	5	1	4	2	3	0	0	0	0	0	1	1	3	5	0
もやもや病	4	0	4	3	1	0	0	1	1	0	1	1	0	4	0
亜急性硬化性全脳炎	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
全身性アミロイドーシス	3	1	2	2	1	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0
神経線維腫症	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
天疱瘡	3	1	2	2	1	0	0	0	0	1	1	1	0	3	0
膿疱性乾癬(汎発型)	6	2	4	2	4	0	0	0	1	1	1	1	2	6	0
高安静脈炎	2	2	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0
巨細胞性動脈炎	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0
結節性多発動脈炎	3	0	3	2	1	0	0	0	0	0	1	1	1	3	0
顕微鏡的多発血管炎	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
多発血管炎性肉芽腫症	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	4	0	4	2	2	0	0	0	0	1	1	0	2	4	0
悪性関節リウマチ	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0
原発性抗リン脂質抗体症候群	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
全身性エリテマトーデス	26	2	24	0	26	0	0	4	3	4	5	8	2	25	1
皮膚筋炎／多発性筋炎	13	1	12	1	12	0	0	0	0	1	0	6	6	12	1
全身性強皮症	6	2	4	2	4	0	0	0	0	1	1	2	2	6	0
混合性結合組織病	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
シェーグレン症候群	6	1	5	0	6	0	0	0	1	0	0	3	2	6	0
成人発症スチル病	6	2	4	1	5	0	0	0	0	0	2	1	3	6	0
再発性多発軟骨炎	2	1	1	0	2	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0
ベーチェット病	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1
特発性拡張型心筋症	9	3	6	6	3	0	0	0	0	4	1	3	1	9	0
肥大型心筋症	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
再生不良性貧血	6	0	6	4	2	0	0	1	0	2	2	0	1	5	1
発作性夜間ヘモグロビン尿症	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
特発性血小板減少性紫斑病	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
IgA腎症	6	2	4	3	3	0	0	0	2	1	3	0	0	5	1
多発性嚢胞腎	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0

黄色靭帯骨化症	15	3	12	11	4	0	0	0	1	0	1	5	8	14	1
後縦靭帯骨化症	33	7	26	26	7	0	0	0	0	1	4	16	12	33	0
広範脊柱管狭窄症	7	1	6	4	3	0	0	0	0	0	0	4	3	7	0
特発性大腿骨頭壊死症	14	5	9	8	6	0	0	0	2	3	3	4	2	13	1
下垂体性 ADH 分泌異常症	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
下垂体前葉機能低下症	4	0	4	1	3	0	0	1	0	1	0	0	2	4	0
サルコイドーシス	3	0	3	0	3	0	0	0	0	0	1	2	0	3	0
特発性間質性肺炎	5	3	2	2	3	0	0	0	0	0	0	1	4	5	0
肺動脈性肺高血圧症	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0
慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0
網膜色素変性症	19	2	17	9	10	0	0	0	0	3	2	8	6	19	0
原発性胆汁性胆管炎	3	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0
原発性硬化性胆管炎	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
自己免疫性肝炎	2	0	2	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0
クローン病	12	2	10	8	4	0	1	0	3	4	3	1	0	12	0
潰瘍性大腸炎	19	5	14	15	4	0	0	1	3	1	5	7	2	19	0
筋ジストロフィー	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
脊髄膜瘤	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
前頭側頭葉変性症	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
限局性皮質異形成	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
家族性良性慢性天疱瘡	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
特発性後天性全身性無汗症	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
単心室症	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
抗糸球体基底膜腎炎	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
一次性ネフローゼ症候群	5	1	4	3	2	0	0	0	0	1	1	1	2	5	0
一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
間質性膀胱炎(ハンナ型)	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0
家族性地中海熱	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
強直性脊椎炎	13	10	3	5	8	0	0	0	3	3	4	3	0	13	0
軟骨無形成症	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
後天性赤芽球癆	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0
好酸球性副鼻腔炎	3	2	1	2	1	0	0	0	2	1	0	0	0	3	0
特発性多中心性キャッスルマン病	2	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0
合計	406	88	318	198	208	1	1	13	30	41	60	125	135	397	9

Ⅲ 健康推進班業務

1 結核対策

図1 新登録患者の罹患率年次推移

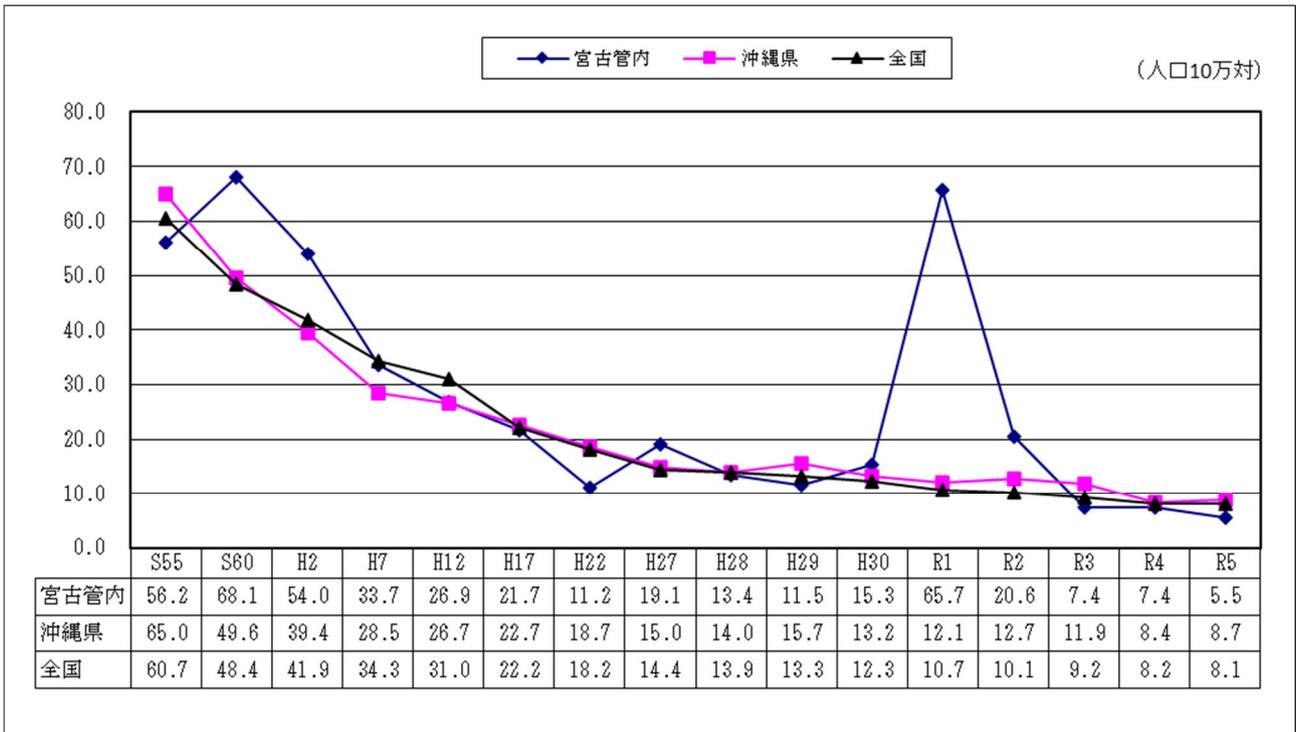


表1 結核新登録患者(年次別、活動性分類別、年齢階級別)

令和5年

分 区 年次別	総数	活動性肺結核				活動性 肺外結核	不明	潜在性結 核感染症 (別掲)
		総数	感染性		菌陰性			
			喀痰塗抹 陽性	その他の 菌陽性				
昭和50年	48	45	(0)	(4)	(41)	3	0	4
55年	34	29	(2)	(9)	(18)	5	0	2
60年	41	30	(0)	(8)	(22)	11	0	2
平成2年	31	26	(0)	(14)	(12)	5	0	5
7年	19	18	(2)	(10)	(6)	1	0	16
12年	15	12	(6)	(4)	(2)	3	0	11
17年	12	10	(5)	(2)	(3)	2	0	7
22年	6	3	(2)	(1)	(1)	1	0	11
27年	10	7	(3)	(4)	(0)	3	0	2
28年	7	3	(2)	(1)	(0)	4	0	4
29年	6	3	(1)	(2)	(0)	3	0	3
30年	8	4	(3)	(1)	(0)	4	0	5
令和元年	35	30	(7)	(10)	(13)	5	0	27
令和2年	11	7	(5)	(2)	(0)	4	0	11
令和3年	4	2	(0)	(0)	(2)	2	0	4
令和4年	4	3	(1)	(1)	(1)	1	0	5
令和5年	3	2	(1)	(1)	(0)	1	0	3

表 2 新登録患者の年齢階級別状況

令和 5 年

区分 年次別	総数	活動性肺結核				活動性 肺外結核	不明	潜在性 結核 感染症 (別掲)
		総数	感染性		菌陰性			
			喀痰塗抹 陽性	その他の 菌陽性				
年齢階級別計	3	2	1	1	0	1	0	3
0～4歳	0	0	0	0	0	0	0	0
5～9歳	0	0	0	0	0	0	0	0
10～14歳	0	0	0	0	0	0	0	0
15～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0
30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	1
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	1
60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0
70～79歳	1	1	1	0	0	0	0	0
80～89歳	1	0	0	0	0	1	0	1
90歳以上	1	1	0	1	0	0	0	0

図 2 新登録患者の年齢階級別状況

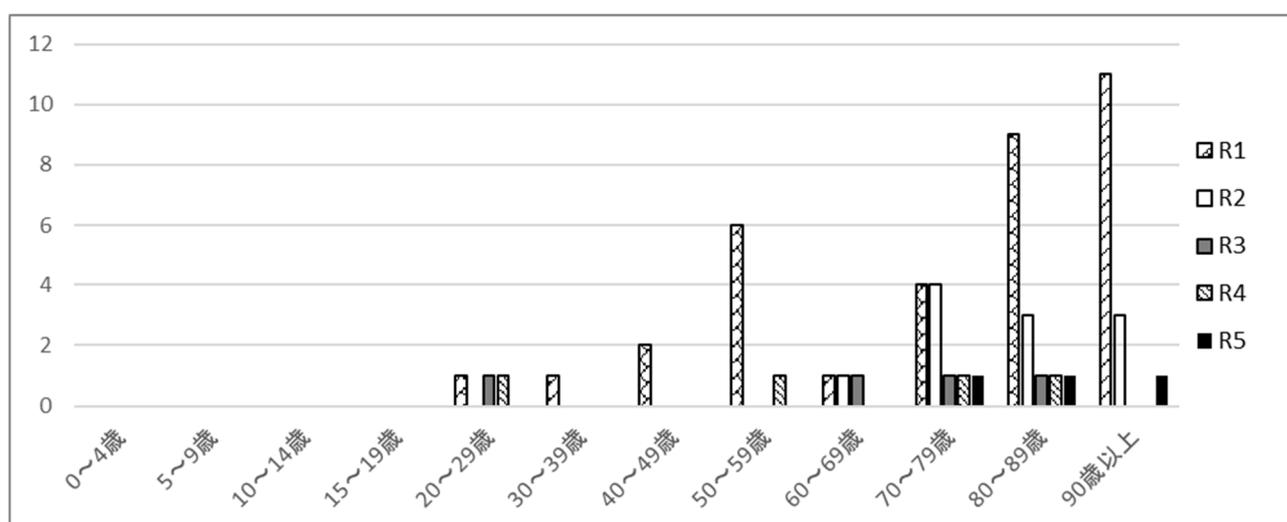


表3 結核死亡状況

結核死亡率：‰（千分率）

	宮古管内				沖縄県		全国	
	全死亡数	結核死亡数	結核死亡率	人口	結核死亡数	結核死亡率	結核死亡数	結核死亡率
S50年	411	1	2.4	57,762	52	5.0	10,567	9.5
55年	406	2	4.9	60,464	39	3.5	6,429	5.5
60年	375	3	5.0	60,333	28	2.4	4,692	3.9
H2年	461	2	3.5	57,455	32	2.6	3,659	3.0
7年	416	1	2.4	56,248	31	2.4	3,178	2.6
12年	463	1	2.2	55,805	23	1.8	2,650	2.1
17年	517	0	0.0	55,186	17	1.2	2,295	1.8
22年	631	1	1.6	53,452	23	1.7	2,126	1.7
27年	639	1	1.6	52,441	22	1.5	1,955	1.6
28年	623	1	1.6	52,164	14	1.0	1,889	1.5
29年	631	0	0.0	52,343	30	2.1	2,306	1.9
30年	629	0	0.0	52,456	25	1.7	2,204	1.8
R1年	653	1	1.5	53,289	22	1.5	2,087	1.7
2年	690	3	4.3	53,510	21	1.5	1,909	1.5
3年	675	1	1.4	52,850	25	1.7	1,844	1.5
4年	692	0	0.0	53,967	23	1.6	1,664	1.4
5年	740	0	0.0	54,097	27	1.9	1,587	1.3

2 感染症対策

表1 年次別感染症発生状況（全数報告）

類型	疾患名	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
2類	結核	62	22	8	9	6
3類	腸管出血性大腸菌感染症	1	8	7	11	7
4類	E型肝炎	0	0	0	0	0
	つつが虫病	4	3	3	2	3
	レジオネラ症	2	0	2	1	1
	レプトスピラ症	0	0	2	0	0
5類	急性脳炎	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	0	0	0	1
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	1	0	0
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	2	2	0	0
	水痘（入院例に限る）	0	0	1	0	0
	梅毒	3	2	2	8	1
	百日咳（H30年1月～）	3	3	0	0	0
	風しん	1	0	0	0	0
	麻しん	0	0	0	0	0
	アメーバ赤痢	0	1	0	0	0
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	0	2	0	0	2
	合計		83	44	28	31

表2 月別感染症発生状況（定点報告）

令和5年

疾患名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
インフルエンザ	298	165	309	140	53	0	17	82	348	396	300	156	2264
RSウイルス感染症	0	0	0	1	1	17	31	2	1	0	0	0	53
咽頭結膜熱	4	2	0	6	5	2	4	6	11	40	28	34	142
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	2	0	8	9	14	80	6	18	15	16	26	195
感染性胃腸炎	20	23	9	2	7	6	10	2	3	4	14	5	105
水痘	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3
手足口病	3	20	29	53	39	6	9	1	5	10	1	7	183
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発しん	1	2	1	4	0	1	2	2	0	2	1	2	18
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	1	3	4	1	2	0	1	12
流行性耳下腺炎	1	0	0	2	1	1	0	0	0	1	0	0	6
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	1	0	0	0	1	3	2	3	3	2	2	7	24
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新型コロナウイルス感染症					235	389	412	118	144	104	15	19	1436
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	5	7	2	4	9	4	6	9	7	6	10	10	79
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※新型コロナウイルス感染症は令和5年5月8日より五類感染症へ移行

表3 定期予防接種実施状況 令和5年度

	DPT（ジフテリア・百日せき・破傷風）・DT（ジフテリア・破傷風）							ポリオ			
	第Ⅰ期				第Ⅱ期			I P V（不活化）			
	初回接種			追加接種	DT（ジフテリア・破傷風）			I 期初回			I 期追加
	1回目	2回目	3回目					1回目	2回目	3回目	4回目
	被接種者数	被接種者数	被接種者数	被接種者数	対象者数	被接種者数	接種率	被接種者数	被接種者数	被接種者数	被接種者数
宮古島市	0	0	0	0	560	313	55.9%	0	0	0	0
多良間村	0	0	0	0	15	0	0.0%	0	0	0	0
宮古管内	0	0	0	0	575	313	54.4%	0	0	0	0

	DPT-IPV（4種混合）									
	対象者数	初回接種						追加接種		
		1回目		2回目		3回目		対象者数	被接種者数	接種率
		被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	被接種者数	接種率			
宮古島市	399	401	100.5%	409	102.5%	413	103.5%	493	453	91.9%
多良間村	2	2	100.0%	1	50.0%	0	0.0%	5	5	100.0%
宮古管内	401	403	100.5%	410	102.2%	413	103.0%	498	458	92.0%

	MR（麻しん・風しん）						BCG（結核）		
	第1期			第2期			対象者数	被接種者数	接種率
	対象者数	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率			
宮古島市	445	447	100.4%	506	493	97.4%	403	373	92.6%
多良間村	4	4	100.0%	3	3	100.0%	2	2	100.0%
宮古管内	449	451	100.4%	509	496	97.4%	405	375	92.6%

	日本脳炎										
	第1期						第2期				
	対象者数	初回接種			追加接種			対象者数	被接種者数	接種率	
		1回目		2回目	対象者数	被接種者数	接種率				
被接種者数		接種率	被接種者数	接種率							
宮古島市	518	437	84.4%	394	76.1%	520	356	68.5%	608	381	62.7%
多良間村	3	0	0.0%	0	0.0%	11	3	27.3%	4	0	0.0%
宮古管内	521	437	83.9%	394	75.6%	531	359	67.6%	612	381	62.3%

	ロタウイルス										
	対象者数	1価				5価					
		1回目		2回目		1回目		2回目		3回目	
		被接種者数	接種率								
宮古島市	401	234	58.4%	228	56.9%	116	28.9%	113	28.2%	112	27.9%
多良間村	2	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
宮古管内	403	235	58.3%	228	56.6%	116	28.8%	113	28.0%	112	27.8%

	Hib感染症									
	初回接種							追加接種		
	対象者数	1回目		2回目		3回目		対象者数	被接種者数	接種率
		被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	被接種者数	接種率			
宮古島市	401	381	95.0%	374	93.3%	364	90.8%	457	425	93.0%
多良間村	2	2	100.0%	1	50.0%	1	50.0%	3	3	100.0%
宮古管内	403	383	95.0%	375	93.1%	365	90.6%	460	428	93.0%

	肺炎球菌感染症 (小児がかかるものに限る)									
	初回接種							追加接種		
	対象者数	1回目		2回目		3回目		対象者数	被接種者数	接種率
		被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	被接種者数	接種率			
宮古島市	401	381	95.0%	377	94.0%	368	91.8%	457	427	93.4%
多良間村	2	2	100.0%	1	50.0%	1	50.0%	3	3	100.0%
宮古管内	403	383	95.0%	378	93.8%	369	91.6%	460	430	93.5%

	HBV(B型肝炎)							
	対象者数	初回接種				追加接種		
		1回目		2回目		3回目		
		被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	
宮古島市	401	381	95.0%	372	92.8%	356	88.8%	
多良間村	2	2	100.0%	1	50.0%	0	0.0%	
宮古管内	403	383	95.0%	373	92.6%	356	88.3%	

	水痘					
	1回目			2回目		
	対象者数	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率
宮古島市	457	447	97.8%	493	364	73.8%
多良間村	3	3	100.0%	5	5	100.0%
宮古管内	460	450	97.8%	498	369	74.1%

	HPV (ヒトパピローマウイルス感染症)								
	対象者数	1回目	2回目	3回目	キャッチアップ 対象者数	1回目	2回目	3回目	
		被接種者数				被接種者数			
	宮古島市	1582	34	13	13	1978	51	32	12
多良間村	19	6	4	0	53	1	1	0	
宮古管内	1601	40	17	13	2031	52	33	12	

	肺炎球菌感染症 (高齢者がかかるものに限る)				インフルエンザ (高齢者がかかるものに限る)		
	65歳			経過措置	65歳以上		
	対象者数	被接種者数	接種率	被接種者数	対象者数	被接種者数	接種率
宮古島市	967	138	14.3%	139	15,204	5,461	35.9%
多良間村	17	11	64.7%	4	339	243	71.7%
宮古管内	984	149	15.1%	143	15,543	5,704	36.7%

3 多目的コホート研究

(1) 目的

多目的コホート研究は、1990年に始まった大規模で長期にわたる観察型の疫学研究である。独立行政法人国立がん研究センターのがん研究開発費※を原資に2021年現在も追跡調査が続けられている。どのような生活習慣・環境をもつ人が、がん・脳卒中・心筋梗塞・糖尿病などになりやすいのか、あるいはなりにくいのかを明らかにすることを目的としている。

※2009年までは厚生労働省がん研究助成金による

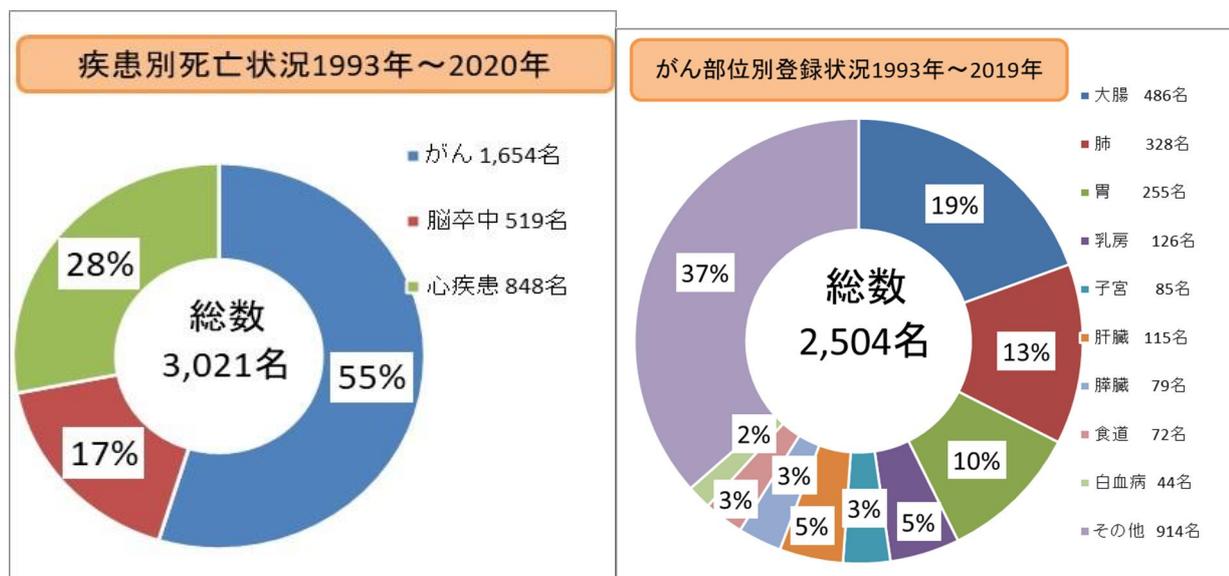
(2) 対象（コホートⅡ：1993年研究開始）

1993年に、旧平良市及び旧城辺町に在住する40歳以上70歳未満の方（大正12年1月1日から昭和27年12月31日に生まれた方）14,109名を対象に、市町村の住民基本台帳より抽出した。

(3) 内容

独立行政法人国立がん研究センターがん研究事業を実施するため、宮古保健所長が分担研究者となり、宮古地域の住民調査を実施している。現在の主な業務としては、コホート対象者の異動情報処理、死亡情報処理、その他関連業務を実施している。

(4) 宮古地域のがん罹患および疾患別死亡状況



IV 生活環境班業務

1 血液関係

赤十字血液センターによる献血事業が年に2回実施されており、高校生を対象とした献血は年1回実施されている。

表1 地区別 献血実績（令和元年度～令和5年度）

（単位：人）

	年度	予定人員	受付者数	不適格者数	献血の種類				予定人員に対する献血者の割合（%）
					200mL	400mL	成分	合計	
平良地区	令和元年度	995	1,324	168	10	1,146	0	1,156	116.2
	令和2年度	670	925	167	21	737	0	758	113.1
	令和3年度	980	1,482	248	3	1,231	0	1,234	125.9
	令和4年度	1,000	1,292	180	1	1,111	0	1,112	111.2
	令和5年度	1,290	1,826	224	2	1,604	0	1,606	124.5
城辺地区	令和元年度	20	20	0	0	20	0	20	100.0
	令和2年度	20	26	1	0	25	0	25	125.0
	令和3年度	20	16	0	0	16	0	16	80.0
	令和4年度	20	14	3	0	11	0	11	55.0
	令和5年度	-	-	-	-	-	-	-	-
下地地区	令和元年度	20	20	1	0	19	0	19	95.0
	令和2年度	20	23	2	0	21	0	21	105.0
	令和3年度	20	21	0	0	21	0	21	105.0
	令和4年度	20	25	1	0	24	0	24	120.0
	令和5年度	-	-	-	-	-	-	-	-
上野地区	令和元年度	195	238	11	0	227	0	227	116.4
	令和2年度	120	167	32	0	135	0	135	112.5
	令和3年度	280	345	11	0	334	0	334	119.3
	令和4年度	260	287	10	0	277	0	277	106.5
	令和5年度	215	276	9	0	267	0	267	124.2

※伊良部地区は令和元年度以降未実施

※多良間村は未実施

資料：沖縄県赤十字血液センター

表2 高等学校別 献血実績（令和元年度～令和5年度）

（単位：本）

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	200mL	400mL	小計	200mL	400mL	小計	200mL	400mL	小計	200mL	400mL	小計	200mL	400mL	小計
宮古高等学校	2	51	53	6	49	55	0	48	48	0	38	38	0	42	42
宮古総合実業高校	5	28	33	5	21	26	1	18	19	1	14	15	1	19	20
宮古工業高等学校	0	22	22	6	30	36	1	31	32	0	12	12	0	17	17
合計	7	101	108	17	100	117	2	97	99	1	64	65	1	78	79

資料：沖縄県赤十字血液センター

V 学生実習

NO	実習生所属	実習期間	時間	学生数	実習目的
1	県立看護大 (4年次)	R5. 9. 19	1日	4	沖縄県における衛生行政の中核を担う保健所の機能、役割を学ぶ

VI 研修・講習

NO	実施月日	研修・講習名	場 所	受講対象者	開催回数	研修・講習講師	担 当 班
1	R5. 5. 12	食中毒原因施設従業者向け食品衛生講習会	宮古保健所 2階大会議室	食中毒原因施設従業者	1	生活環境班技師	生活環境班
2	R5. 8. 16	アルコール関連問題支援者研修	宮古保健所 2階大会議室	アルコール問題の相談業務に従事する支援者	1	糸満晴明病院相談員	地域保健班
3	R5. 8. 25	環境法令講習会	宮古合同庁舎 2階講堂	建設業関係者	1	生活環境班主任	生活環境班
4	R5. 9. 7	宮古地区労働衛生大会特別講演 「大腸がんについて」	宮古島市中央公民館	労働衛生大会参加者	1	健康推進班保健師、県立宮古病院消化器外科 医師	健康推進班
5	R5. 10. 16 R5. 10. 17	動物取扱責任者研修	宮古保健所 2階大会議室	動物取扱責任者	2	生活環境班技師	生活環境班
6	R5. 11. 3	宮古地区精神保健福祉普及啓発講演会	宮古合同庁舎 2階講堂	宮古保健所管内在住の一般住民	1	昭和薬科大学附属中学高校・山本クリニック公認心理師	地域保健班
7	R5. 11. 17	食品表示制度講習会	JTAドーム宮古島	食品取扱業者	1	健康推進班	健康推進班
8	R5. 11. 17	食品表示制度講習会	JTAドーム宮古島	食品取扱事業者	1	生活環境班技師	生活環境班
9	R5. 12. 8	宮古地区特定給食施設等研修会	JTAドーム宮古島	学校給食関係者	1	生活環境班技師	生活環境班
10	R5. 12. 8	小児慢性特定疾病等講演会	宮古保健所 2階大会議室	小児慢性特定疾病児の保護者、支援者等	1	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 小児看護専門看護師	地域保健班
11	R5. 12. 13	難病医療講演会	宮古保健所 2階大会議室	神経難病患者支援に従事する者	1	沖縄県立宮古病院 総合内科医、認定NPO法人アンビシャス センター長	地域保健班
12	R6. 1. 20 R6. 1. 27	アルコール家族教室	危機管理室、精神保健相談室 (第7相談室)	アルコール依存症者 (飲酒問題含む) の家族	2	沖縄リハビリテーション病院公認心理師、おきなわASK、宮古断酒会	地域保健班
13	R6. 1. 30 R6. 2. 9	自殺対策支援者研修会	宮古保健所 2階大会議室	精神保健、福祉に関する業務に従事する者等	2	宮古病院医師、沖縄県ひきこもり専門支援センター相談員	地域保健班
14	R6. 3. 12	(有)宮古環境保全センター産業廃棄物処理業許可取消に係る説明会	宮古保健所 2階大会議室	産業廃棄物処理業社	1	生活環境班主任	生活環境班
15	R6. 3. 18	アグリチャレンジ講座	宮古合同庁舎 大会議室	農作物の加工等に関心がある農家	1	生活環境班技師	生活環境班
16	R5. 6. 14 R5. 9. 20 R5. 11. 15 R6. 3. 6	食品衛生責任者養成講習会	宮古合同庁舎 大会議室	食品衛生責任者の資格取得を希望する者	4	生活環境班技師	生活環境班
17	原則 月1回	食品衛生講習会	宮古保健所 2階大会議室	食品取扱事業者	16	生活環境班技師	生活環境班
18	月1回	浄化槽設置者講習会	宮古保健所 2階大会議室	浄化槽設置者	12	生活環境班技師	生活環境班

VII 研究実績

No.	報告月日	研究テーマ	学会名等	研究者
1	R5. 7. 20	宮古保健所管内における 食肉に係る最近の動向について	衛生監視員 研究発表会	生活環境班技師